

明泉幼稚園丸山キャンパス

No. 19-029-2020作成
新築
学校

発注者	学校法人 宮城明泉学園	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	(株)安藤・間東北支店一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	(株)安藤・間東北支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

豊かな自然環境と共存する幼稚園



計画地概要

明泉幼稚園は宮城県仙台市の幼児期から英語教育を導入した特色ある幼稚園である。

周辺環境

敷地内全体が緑豊かな環境に育まれており、「明泉ガーデン」と呼ばれている。

○きれいな花と触れ合う・「おひさまの丘」「北風の丘」

○水辺、植物と触れ合う・「丸山大滝」「カンガルー広場」

○木々と触れ合う・・・「オータムヒルズ」「大きな松の木」

豊かな自然環境とふれあう「場」が多く設けられている事により、子どもたちにとって魅力ある環境となっている。



特色ある外観デザイン

外観デザインは、アメリカ文化特有のカントリーテイストの配色と独特な形状としている。建物は周囲の自然と調和しながらアメリカ文化を吸収できる計画となっている。外部の窓にはトリムと呼ばれるデザインを採用している。

日本文化にはない独特な内観デザイン

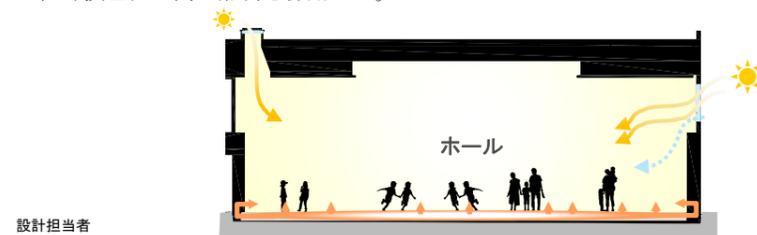
内部デザインは、全体的に柔らかく落ち着いた統一感のあるデザインとなっている。日本の様に画一的な平面計画でなく、暖炉など「ゆとり」のある空間を設けている。アメリカ人の考え方として、「大人と同じ使い方をさせる」という考えで、トイレなどは大人用の便器、小便器を採用している。



省エネルギーへの配慮

建物の仕様についてもアメリカ文化独特の性能と仕様を求められ以下の仕様、設備を採用した。

- ・土間下断熱材は通常の厚み25mmではなく100mmを採用した。
- ・断熱仕様は、屋根+天井裏でグラスウールt=200mm相当、外壁部分はグラスウールt=150mm相当の断熱性能を確保した。
- ・窓ガラス、トップライト、ハイサイドライトには断熱性能と日射遮蔽効果の高いLOW-E複層ガラスを採用した。
- ・トップライト、ハイサイドライトは通年自然通風を確保できるように開閉式窓を採用した。
- ・換気設備は、外気負荷低減に配慮して全熱交換機を採用し、ホール部分にはホール内の温度を均一にする事が出来る床輻射方式を採用した。
- ・照明器具は、長寿命で電力消費の少ないLEDダウンライトとし、色温度が低く演色性の高い照明を採用した。



設計担当者

統括：東 章博/建築：斎藤 純、堀場 英/構造：若栗 誠/設備：菅田 茂、瀧田 佳史

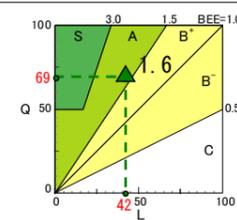


建物データ

所在地	宮城県仙台市
竣工年	2020年
敷地面積	23,769㎡
延床面積	3,325㎡ (全体面積：8,206㎡)
構造	S造、一部RC造
階数	地下1階、地上2階

CASBEE評価

Aランク
BEE=1.6
2014年度版
自己評価



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (外構、周辺の自然を取り込んだ「明泉ガーデン」)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (LOW-E複層ガラス、断熱材の厚みをより厚い仕様とした)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (トップライト、ハイサイドライトからの自然光利用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明の採用、全熱交換機)